December2010

徳島県博物館協議会ニュース NO. 35

＜目 次＞

「知ろう！学ぼう！鳥居龍蔵」 ……1・2
「研修会の報告」 ……2
「情報コーナー」 ……3
○三好市井川ふるさと交流センター民俗資料館
○上板町立歴史民俗資料館
「情報コーナー」 ……4・5・6
○徳島県立阿波十郎兵衛屋敷　○阿波銀ホール・（徳島県郷土文化会館）～阿波木偶資料館　○Ｊパワーよんでん Ｗａンダーランド　○あすたむらんど徳島子ども科学館　○妖怪屋敷・石の博物館　○鳴門市ドイツ館　○大鳴門橋架橋記念館

知ろう！　学ぼう！　鳥居龍蔵

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館　専門学芸員　　石尾和仁 氏

（オープニングセレモニーによるテープカット）

（第１展示室）

文化の森総合公園の開園 20 周年記念日である 11 月３日に、鳥居龍蔵記念博物館が開館しました。

徳島市東船場で生まれた鳥居龍蔵は、人類学･考古学･民族学研究の先駆者として、明治･大正・昭和の時代を駆け抜けた傑出した学者ですが、徳島県民にもあまり知られていないのではないでしょうか。

龍蔵は、東京帝国大学人類学教室の初代教授となる坪井正五郎のすすめもあって 20 歳で上京、人類学教室の標本整理係となりました。その後、遼東半島調査を皮切りに、台湾･千島列島･中国西南部･朝鮮半島･中国東北部･内モンゴル・サハリン・シベリアなど、東アジア各地を踏査しました。そして、南アメリカにもその足跡を残しています。もちろん、徳島市の城山貝塚をはじめとして、国内調査も精力的に実施しました。

本館は、「鳥居龍蔵の見たアジア」（第１展示室）、「鳥居龍蔵の生涯」（第２展示室）、「鳥居龍蔵に学ぶ」（第３展示室）の３つの展示室で構成されており、龍蔵の業績を顕彰するとともに、その生涯について広く知っていただくことを目的にしています。

第１展示室は、龍蔵が調査した東アジア各地の調査ルートを LED で示す床地図、中国東北部から内モンゴルにかけて繁栄した遼王朝の陵墓の復元模型などとともに、「台湾・中国西南部」「中国東北部・内モンゴル」「朝鮮半島」「千島列島・サハリン・シベリア」「日本列島」の各コーナーで、鳥居が収集した考古資料や民族資料を展示しています。そして、初めて公開される写真なども掲示しています。

また、鳴門市妙見山にあった旧館では展示できていなかったものに、中国語とモンゴル

語で書かれた護照（現在のビザ）や出土地が注記された国内の土器などがあります。護照は、中国年号の光緒33（1907）年に発行されたもので、龍蔵・きみ子夫妻が幼い幸子を連れて調査したときのものです。一方、日本列島のコーナーでは、南は沖縄、北は東北・北海道に及んだ龍蔵の国内調査の様子が理解していただけるものと思います。

第２展示室では、人類学を志した少年期から青年期、そして、上京して東京帝国大学人類学教室に勤めながら研究を深めていく時代、そして、東京帝国大学退職後は妻きみ子や子どもたちとの調査を重ねていく時代を、遺品や写真で紹介しています。展示品としては、助手の任命書や出張命令書、そして「満蒙の有史以前」の論文で授与された学位記などがあります。また、ここでは書斎のイメージ復元もしました。

第３展示室では、関連図書を自由に閲覧していただけるようにしたほか、土器パズルや民族衣装を着ていただけるようにするなど、子どもたちにも楽しんでもらえるような体験学習のキットもそろえています。また、龍蔵が撮影した写真の一部の検索や一般向け・子ども向けの番組が閲覧できるパソコンを設置しています。

ぜひ、一人でも多くの方々に、鳥居龍蔵記念博物館にご来館していただき、鳥居龍蔵の生涯や学問の一端にふれ、郷土の先輩の偉業を学んでいただけることを願っています。

（第３展示室）

●開館時間：9：30 ～午後５時
●休館日：毎週月曜日（祝日または振　替休日のときはその翌日）年末年始　（12/28 ～ 1/4）
●観覧料：一般 200 円 (160 円）高校・大学生 100 円（80 円）小･中学生 50 円（40 円）※カッコ内は 20 名以上の団体料金､高齢者（65 歳以上）や障害者の方は、観覧料が半分になります。

〈研修会の報告〉

徳島県博物館協議会の研修会が１１月７日(日) 県立鳥居龍蔵記念博物館（以下、鳥居館）を会場にして行われました。鳥居館の開館記念講演会「民族史学者　鳥居龍蔵　－台湾・南中国へのまなざし－（講師：北海道大学准教授　吉開将人氏)」に参加した後、鳥居館と県立博物館（企画展「藍染めの表象」）の展示観覧を行いました。記念講演会は会場が満席になるほどの盛況ぶりで、文化の森に新しくオープンした鳥居館の門出にふさわしいものでした。

（H22.11.7 協議会事務局）

（講演する吉開将人氏）

（鳥居龍蔵記念博物館見学）

情報コーナー

三好市井川ふるさと交流センター民俗資料館

「刻たばこと内田弥八」

当民俗資料館は平成４年に３階建ての「井川町ふるさと交流センター」が建設され、その１階（４２０㎡）に設置されている。当館の特徴は次の点である。

その１、刻みたばこ資料の展示。

藩政時代から阿波の３大特産品の１つとして数えられている「刻みたばこ」の資料が数多く展示されている。阿波に刻みたばこ工場が作られたのは天明２年（1782）であると伝えられ、以後たばこ産業が国の独占事業である専売制になる明治３８年までおよそ１３０年間にわたって阿波の刻みたばこは北海道をはじめ全国に商圏を広げ、その販売高も驚異的なものがあった。県内での工場数は、三好市（主として井川町辻、池田町）に集中して明治３５年の統計で１３４（従業員10人以上）あり、それ以下を含めると約２００あったと推測され、県下一の工業都市であった。

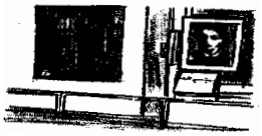
その２、内田弥八関係資料

弥八は本町西井川に生まれ、１５歳で大阪に出て、３年間商家の店員となり、１８歳で漢学を学び、２２歳で慶應義塾にて英学を学び、福沢諭吉に愛された。在学中、ジンギスカンを源義経とする『義経再興記』を刊行し、明治のベストセラーとなり、富と名声を得た。明治２１年実業人となるべく海外事情を知るために中国、印度、シャム等に渡航していたが、途中で発病し帰国、熱海で死亡。３０歳。徳島市で追悼会が開催されたが千人を超す人たちが集まったと伝えられている。波瀾万丈の短い生涯であった。

これらの資料収集に当たっては、町民の協力はもとより、中心的な役割を果たした人がいる。吉岡浅一氏である。氏は、昭和５７年から平成４年まで１０年間教育長として務められ、特に文化財行政に尽力し、退職後はこの民俗資料館と図書館の初代運営委員長として就任し、平成１２年８０歳で亡くなるまで８か年間活躍された。

教育長在任中から『井川町の文化財』等を編集し、文化財行政の基礎とその方向性を確立した。また、驚くほど精力的に民俗、考古資料の収集に当たった。これら郷土資料が学校教育・生涯教育に活かされている。この民俗資料館そのものを「郷土史吉岡浅一先生の足跡」としてその功績を顕彰している。

〒779-4802
三好市井川町岡野前６４
Tel. 0883-78-4311



◇◇

上板町立歴史民俗資料館

「特別展『むかしのかざり展』について」

当館では、８月27日から同月29日にかけて、特別展「むかしのかざり展」を開催した。

この展示は、上板町内の山崎古墳群（古墳時代）・七条経塚遺跡（弥生時代）で出土した玉（勾玉・切子玉・管玉）や耳環・石庖丁を中心に解説しており、その目的は、歴史や文化財への興味・関心の契機づくり、小中学生の学習の提供である。

28日には、徳島県立埋蔵文化財総合センターの方をお呼びし、「勾玉づくり」を実施した。出土した勾玉にちなみ、古代の玉づくりを体験することを目的とし、当日は参加者が、ノコギリやヤスリなどを使用して原料（滑石）から勾玉に成形した。14名の方が参加した。

見学者からは、「出土した玉が現代のものと変わらない感じがし、驚いた。」「町内に玉が出土した遺跡があることを知らなかった。勉強になった。」等の意見をいただいた。

（勾玉づくり）

〒771-1310 板野郡上板町泉谷字原中筋8-1
Tel. 088-694-5688

情報コーナー

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

「阿波人形浄瑠璃」
　阿波人形浄瑠璃芝居定期公演を毎日 11：00～、14：00～しております。
屋敷内の母屋において西田塾写真展「阿波人形浄瑠璃の世界」を開催（12/30 迄）しております。ご来館いただき、ぜひご覧ください。

〒 771-0114　徳島市川内町宮島本浦 184

Tel. 088-665-2202

◇◇◇

情報コーナー

あすたむらんど徳島子ども科学館

あすたむらんど徳島では、クリスマスやお正月など、たくさんのイベントを用意して皆様のお越しをお待ちしております。年末年始はぜひあすたむらんどでお楽しみください。

●クリスマスイベント

12月16日(木)~25日(土)は20時まで開園！（各有料施設は16時30分まで）

プラネタリウムやLED工作、コンサートや空中サーカス、吉野川めぐりの夜間運行、クリスマスソングに合わせた花火など、たくさんのイベントやイルミネーションをお楽しみに。

●迎春イベント

○うさぎ年記念　ジャンボウサギ登場！体長50cm！フレミッシュジャイアントに会おう！

場　所 / 子ども科学館　展示ロビー
開催日 /1月1日(土・祝)~3日(月)
時　間 / ① 10:00~12:00 ② 13:00~16:00
参加費 子ども科学館常設展示の観覧券が必要

○ダンボール王岡村剛一郎のダンボールワールド

長さ6mのダンボールでできた大鳴門橋を渡ってみよう！他にもダンボール遊具がいっぱい！

場　所 / 子ども科学館　特別展示室
開催日 /1月29日(土)~2月27日(日)
時　間 /9:30~16:30
参加費 / 子ども科学館常設展示の観覧券が必要

○「はやぶさ」がやってくる！

2010年6月に地球に帰ってきた「はやぶさ」のカプセルがあすたむにやってくる！

場　所 / 子ども科学館　特別展示室
開催日 /1月22日(土)23日(日)を含む5日間
※詳細は決まり次第HP等に記載します。

各イベントの詳細については、催し案内かHPでご確認下していただくか、お電話でお問い合わせください。

〒779-0111　板野郡板野町那東字キビガ谷45-22
Tel. 088-672-7111
HP. http://www.asutamuland.jp/m/

妖怪屋敷・石の博物館

「お化け屋敷？いいえ妖怪屋敷です！」

当館は道の駅大歩危の中にある博物館で、以前は石の博物館だけでしたが今年の4月に妖怪屋敷が加わりリニューアルオープン致しました。

大歩危・小歩危を内包する山城町は非常に妖怪伝承が多く、地元の有志が10年以上前からフィールドワークをし、数々の伝承やそれにまつわる遺跡の調査などを重ねてきましたが高齢化や過疎化が進むにつれ妖怪伝承を知っている方達も少なくなり、このままでは貴重な伝承が消えてしまう！何とかしなければ！と、地元の住民が力を合わせて作り上げたのが、この妖怪屋敷です。

全てが手作りの妖怪屋敷はどこか懐かしくて優しい雰囲気と、愛嬌たっぷりの妖怪たちで満載です。

妖怪屋敷と石の博物館はセットになっていますが、入館料や石の展示数などは以前と変わりませんので妖怪と石の不思議なコラボレーションの博物館をぜひ見に来てください。

毎週日曜日の２時～３時の間、正面玄関ホールにて妖怪が登場致します。一緒に記念撮影（無料）もできますよ！（＊中止する場合もありますので、詳しくは当日お電話にてご確認ください。）

（カラス天狗）

〒779-5452　三好市山城町上名1553-1
Tel. 0883-84-1489

情報コーナー

鳴門市ドイツ館

★ドイツ館のクリスマス会
日独交流 150 周年記念事業
１２月１２日（日）１４：００～１６：００
１階ホール　　参加費：５００円
定員：幼稚園～小学生児童１００名
（要予約・先着順）
○４つのお楽しみ
①影あそび劇団ジョイホナ講演
②わくわく手作りおもちゃ「スライムをつくろう♪」
③みんなで楽しい「プレゼント交換会」
④サンタさんと天使ちゃんがやってくる！
○クリスマス会の持ちもの
・参加費 (子ども 500 円、大人 300 円）
子ども料金にはおもちゃの材料代とおみやげ代が含まれます。
・エプロン
・300 円程度のプレゼント
・カメラ（サンタさんと一緒に写真をとろう）
・カバンや紙袋（プレゼントを持って帰ろう）

★奥山実秋絵画展 「プロイセン地方の歴史的文化財と伝説」第三集
１2月19日（日）～1月29日（土）
９：３０～１６：３０
(※１2/２７～１2/３１､翌年1/２４は休館日)
２Ｆ企画展示室、入館料が必要
ドイツで活躍している日本人奥山実秋氏による絵画展。プロイセン地方の歴史的文化財の写真を元に油彩で表現する。日独交流１５０周年記念事業。

★東ちづる原画展
2月1日（火）～２０日（日）
９：３０～１６：３０
２Ｆ企画展示室　　入館料が必要
女優東ちづるさんの描いた絵本「マリアンナとパルーシャ」の原画展です。ボランティア活動や、平和活動にも熱心な東さん。戦争で傷ついた子どもたちを支援する「ドイツ国際平和村」を訪れ支援を行っています。絵本は、その訪問時の様子を描いています。

★ドイツ館映画祭
２月１３日（日）　１階ホール
【上映スケジュール予定】
１０:００～　キューポラのある町(１９６２年日活)
出演：吉永小百合、浜田光夫ほか
１３：００～　華岡青洲の妻（１９６７年大映）
出演：市川雷蔵、若尾文子ほか
１５：００～　稲妻（１９５２年大映）
出演：高峰秀子、香川京子ほか
１作品５００円

★フリーデンスフェスト
２月２０日（日）　１Ｆホール
ドイツにある「ドイツ国際平和村」（戦争や内紛で傷ついた子どもたちを治療、教育するボランティア団体）を支援するイベントを開催し、収益は支援金として平和村に送る。

〒779-0225
鳴門市大麻町桧字東山田 55-2
Tel : 088-689-0099

◇◇◇